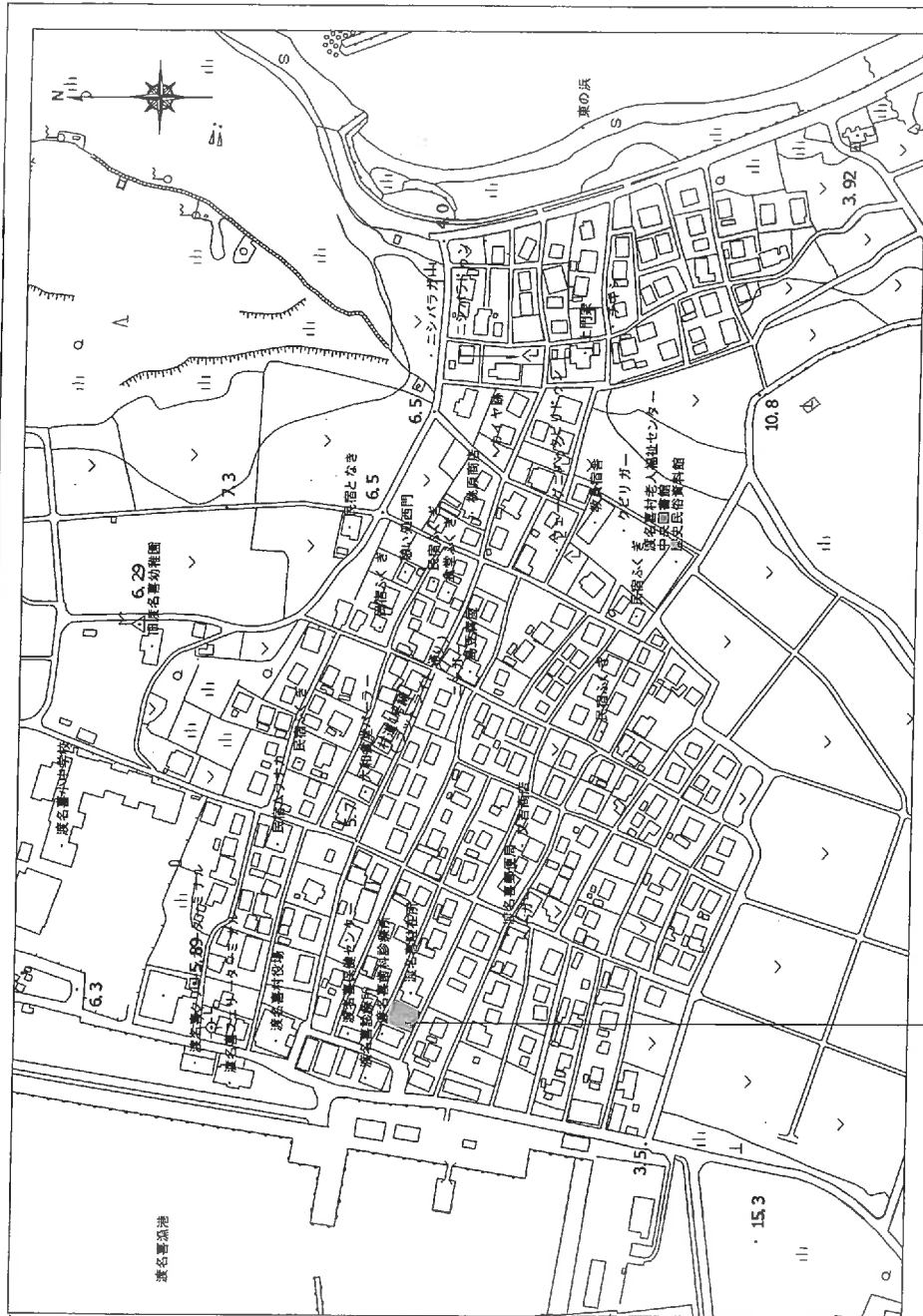
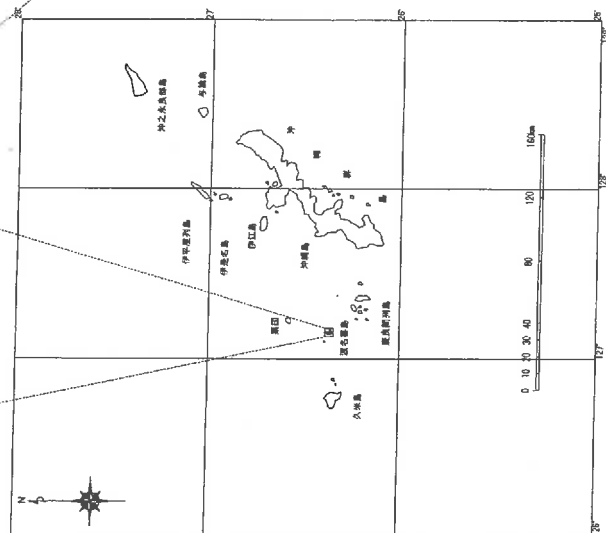
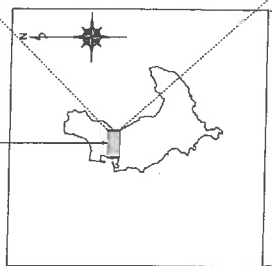




計画地 (Bタイプ) : 沖縄県高良郡波名重村1918番

案内図・付近見取図 NO SCALE

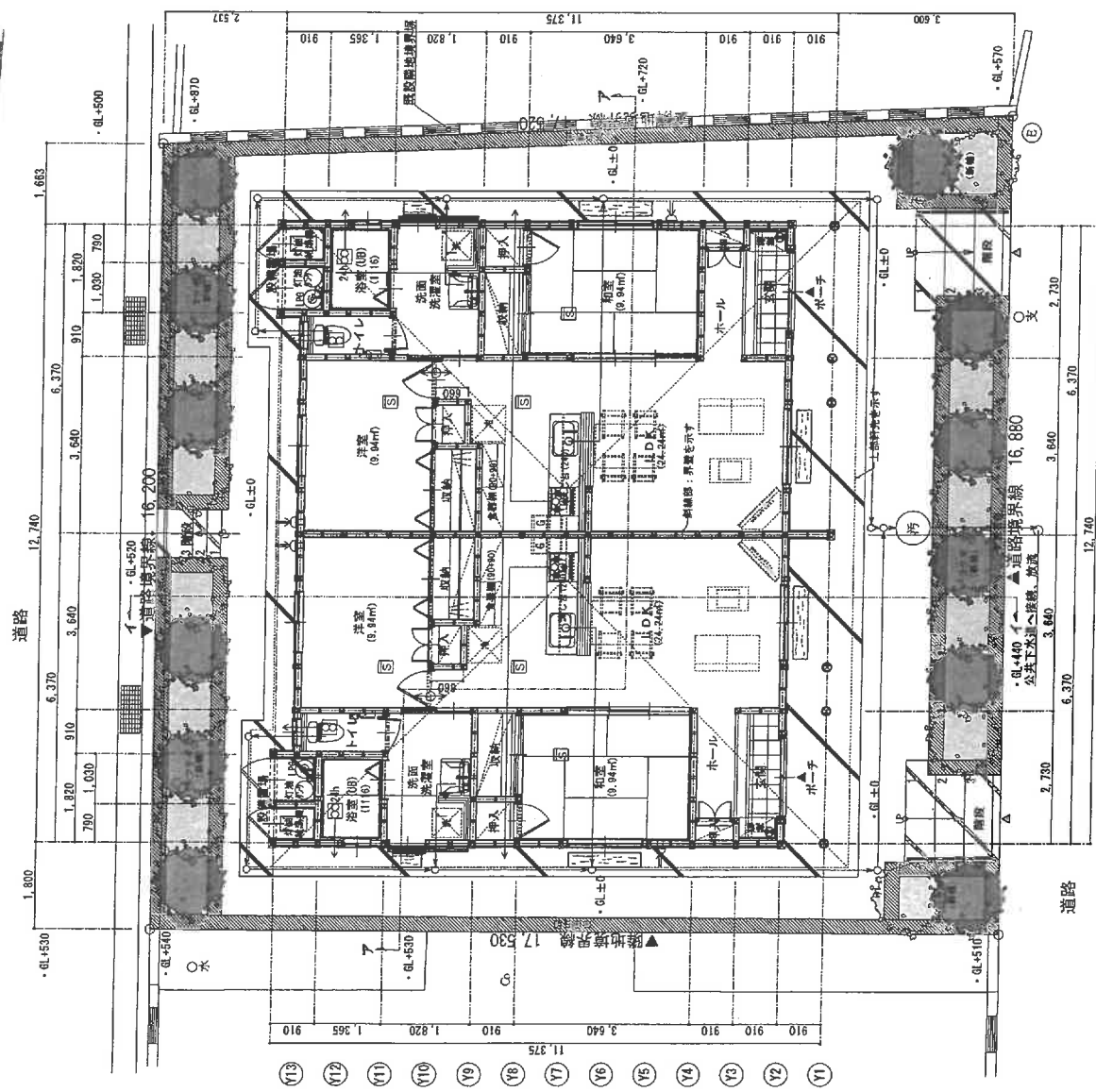
計画地: 沖縄県高良郡波名重村
Bタイプ (1918番地)



工事名称	令和7年度 波名重村多用途住宅建設工事	工事年度	令和7年度
工事場所	波名重村1918番地	図面名称	案内図・付近見取図
設計者	波名重村 経済課	縮尺	NO SCALE
製図者	波名重村 経済課	製図者	A-05
校印	波名重村 経済課	校印	波名重村 経済課
製図者	波名重村 経済課	製図者	波名重村 経済課
校印	波名重村 経済課	校印	波名重村 経済課
製図者	波名重村 経済課	製図者	波名重村 経済課
校印	波名重村 経済課	校印	波名重村 経済課



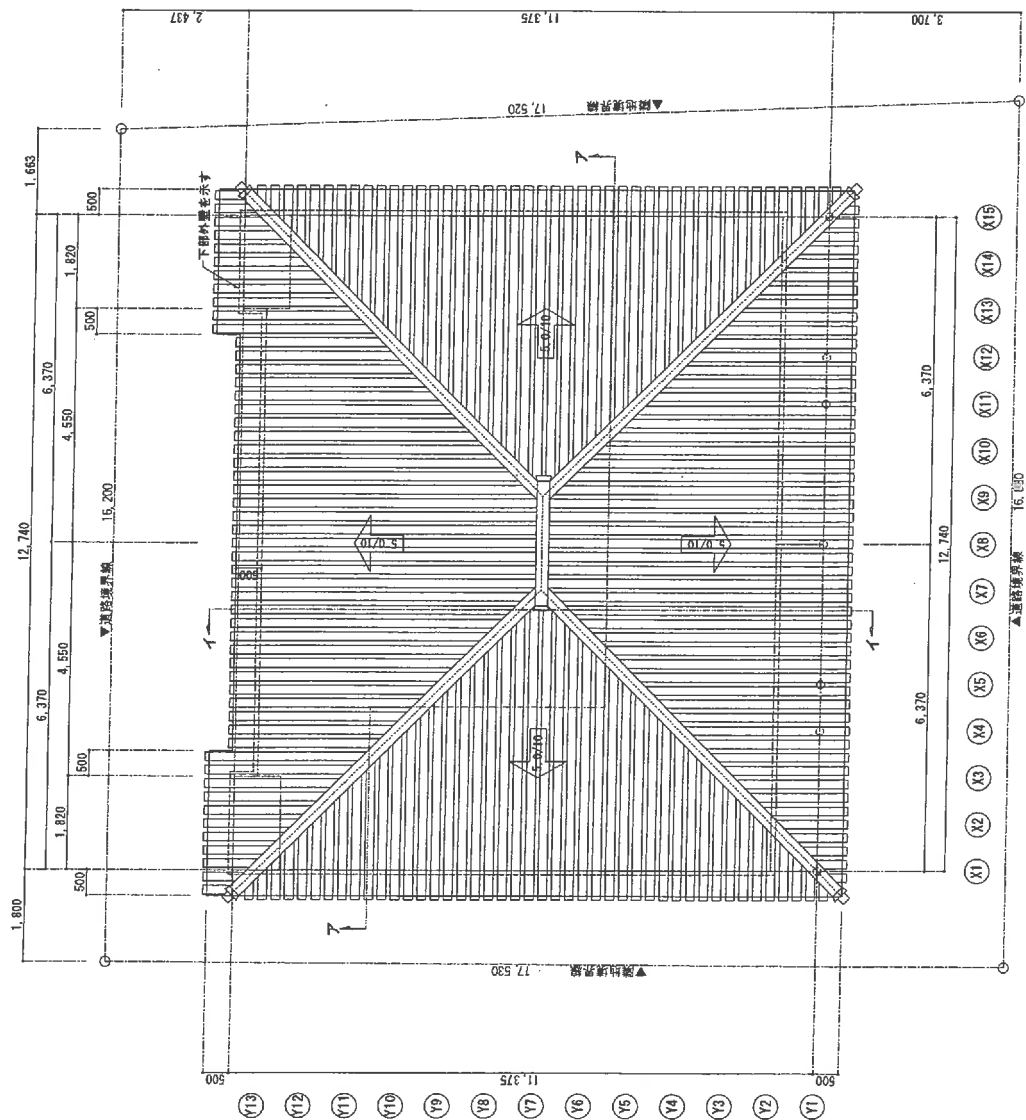
凡例	
← 24h	(24h換気) 換気扇 (第三種 全熱換気型)
←	換気扇 (第三種 局所換気型)
H→	自然 給気口
⇄	遮風下通気有り 770・811有(1・7のみ) (770・811:10mm以上径網)
④	住宅用消火器 4型
S	火災警報機 (有感知型)
□	ガス感知機



採光チェック表【法28、令19～20】※水平距離：配置図を参照（最も狭い部分）※垂直距離：断面図を参照（最も狭い部分）※採光修正係数：（水平距離÷垂直距離×10-1）															換気チェック表【法22、令20の2～3】					
種別	室名	床面積	割合	間居室名	W	H	数量	線対称	天窓・道路	水平距離	垂直距離	採光修正係数	開口率	採光有効面積	採光有効面積合計	判定	必要採光面積	有効窓面積	判定	必要採光面積
西	LDK	24.24	1/7	⑦	1.50	2.00	1	無	有	5.60	1.74	3.00	1.0	9.00	>	3.39	>	1.50	>	1.21
	洋室	9.94	1/7	⑦	1.20	1.00	1	無	有	6.66	1.24	3.00	1.0	3.60	>	1.39	>	0.60	>	0.50
	和室	9.94	1/7	⑦	1.50	2.00	1	無	有	1.34	1.24	3.00	1.0	9.00	>	1.39	>	1.50	>	0.50
東	LDK	24.24	1/7	⑦	1.50	2.00	1	無	有	6.40	1.74	3.00	1.0	9.00	>	3.39	>	1.50	>	1.21
	洋室	9.94	1/7	⑦	1.20	1.00	1	無	有	6.20	1.24	3.00	1.0	3.60	>	1.39	>	0.60	>	0.50
	和室	9.94	1/7	⑦	1.50	2.00	1	無	有	1.49	1.24	3.00	1.0	9.00	>	1.39	>	1.50	>	0.50

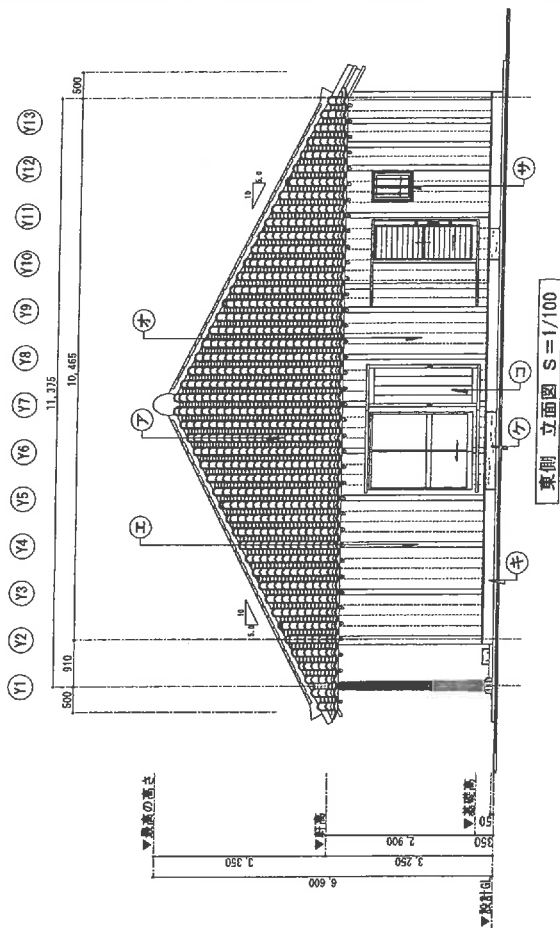
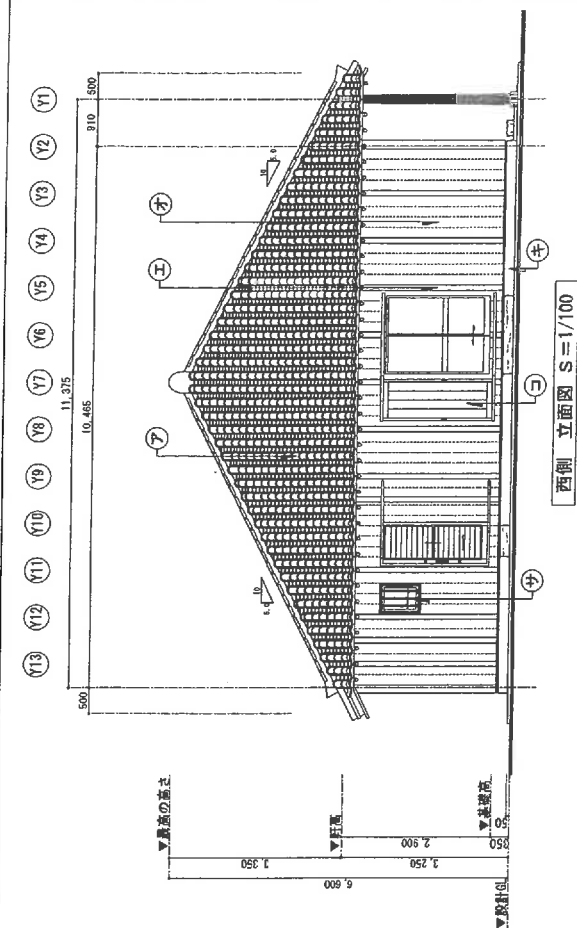
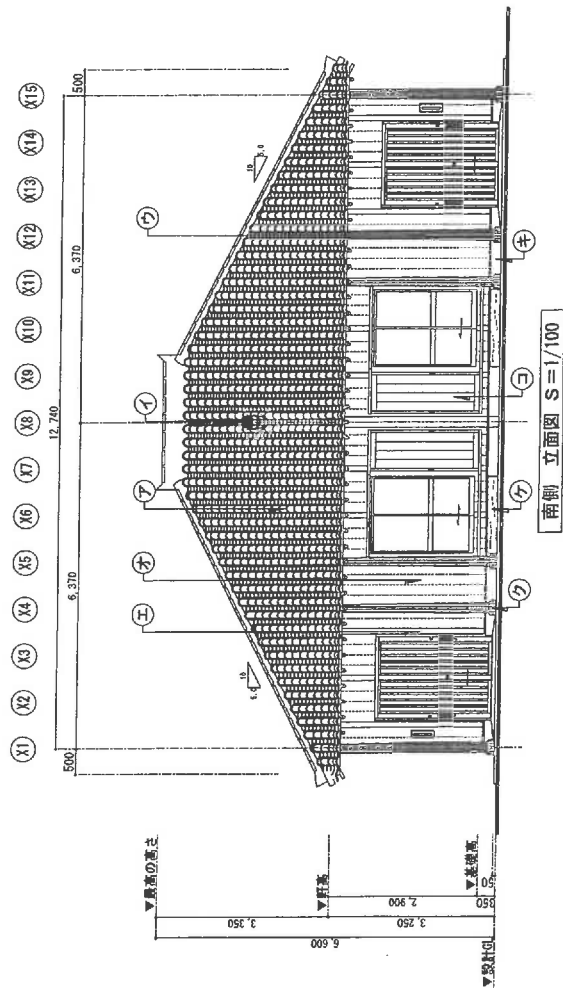
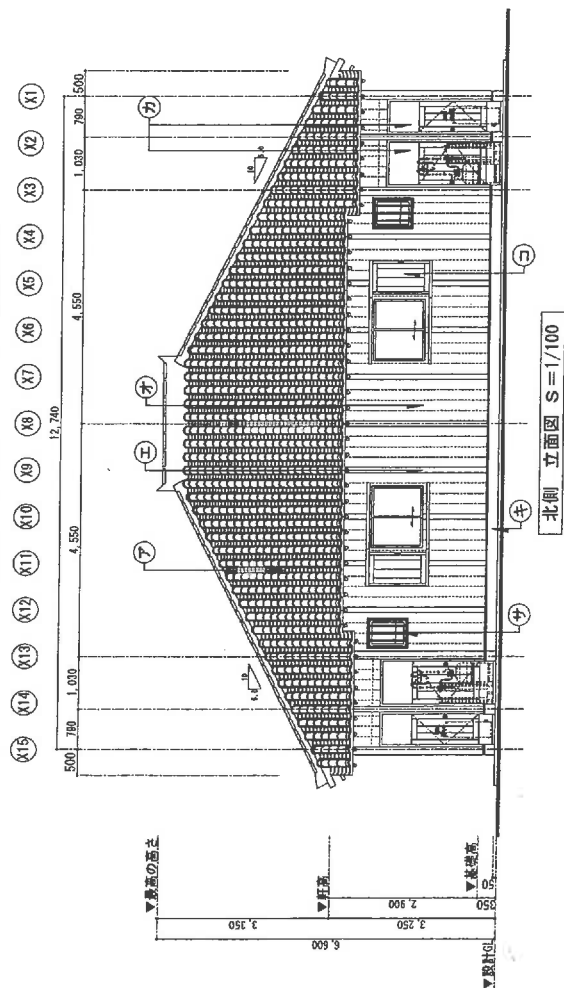
■五反村紀要事項

- ①瓦の型は、可能な限り表裏裏裏で多く使用されている瓦を使用すること。
- ②裏方では、近名書名の伝統的置き方かつ空をきとし、屋根正面から瓦を敷き置くこと。
- ③葺瓦は、津波を喰ひ、隙間を喰ひなすこと。(作業後確認の隙間は、津波を喰ひなすこと。)
- ④葺瓦の突き合わせ部は、鉛より空けること。
- ⑤瓦サイは、瓦工場より強い力があること、あらかじめ監督員、協議の上決定すること。
- ⑥ルーフィングの隅の隅は、シートを喰ひなすこと。
- ⑦の瓦を喰ひなすのは、一氣に喰ひなすこと。
- ⑧瓦は、破損後敷けること。
- ⑨野地板は、損傷が強いもの良品とされているので、窓辺には注意を払うこと。
- ⑩津波喰ひは、潮水(高潮)がないことを確認したうえで、中塗り、上塗りをする。
- ⑪瓦葺きの屋根、鉋場葺きに屋根に破損により増設監督を行うこと。(重労働)
- ⑫野矢四郎は伝統的な置き方とする。



屋根伏図 $S=1/100$

[illegible]



■仕上凡例

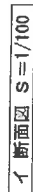
⑦	屋根	沖縄県某瓦葺き(別途) (シタ瓦葺き)	①	化粧柱	杉材HP
⑧	装飾	シーサー(取付) (現場選り付 換気無し)	②	外壁 1	t9彩板強張りWP
⑨	雨樋柱	φ150×2001/4マキ根付 (ヒノキ同軸葺き)	③	外壁 2	t109/4彩板強張りEP

※外壁塗装色は、監督員と協議の上
決定とする。
※外部に取付ける設備機器は、床及び
壁に緊結に固定を行う。

※外部に取付ける設備機器は、床及び壁に緊結に固定を行う。

①	基礎工立上	コンクリート打放し補修 薄付ミルタル塗り仕上	①	西戸	杉材付
②	珪石	②50～300 自然石 (交雑品・要加工)	②	掃子	アルミ面掃子(縦)
③	踏石	コンクリート打放 ④面 ビンヤン仕上			

[illegible]

[illegible]

①瓦の型は、可能な限り遠名喜島で多く使用されている瓦を使用すること。

②葺き方は、遠名喜島の伝統的葺き方かつ空葺きとし、屋根正面から順次行うこと。

- ①②③の如きは、可能な限り現行の署名書式で多く使用されている瓦を、
④⑤⑥⑦は、現行署名書式の印紙の置き方かつ写置きとし、照版
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

[illegible]